



2019年10月8日

各 位

会 社 名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
 代表者名 代表取締役社長 上山 富彦
 (コード番号 2687 東証第1部)
 問合せ先 経理・経営戦略グループマネージャー 牧 健太郎
 (TEL : 043 - 296 - 6621)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月10日に公表いたしました業績予想を下記の通り、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月10日公表)	百万円 5,450	百万円 90	百万円 150	百万円 80	円 銭 16.21
今回発表予想(B)	5405	65	201	146	29.74
増 減 額 (B-A)	△45	△25	51	66	
増 減 率 (%)	△0.8	△27.8	34.0	82.5	
(参考) 前期実績	5,622	26	11	3,557	720.72

2020年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月10日公表)	百万円 1,970	百万円 43	百万円 114	百万円 71	円 銭 14.38
今回発表予想(B)	1,983	41	134	129	26.27
増 減 額 (B-A)	13	△2	20	58	
増 減 率 (%)	0.7	△4.7	17.5	81.7	
(参考) 前期実績	2,073	△39	△35	3,539	716.99

修正の理由

個別業績においては、コンビニエンス・ストア事業において、売上高は堅調に推移したものの、7月の冷夏の影響により、利益率の高い飲料などの販売が伸びなかったことに加え、ホテル事業においても、花見シーズンや大型連休を中心に高稼働で推移していましたが、ゴールデンウィーク明け以降、政治情勢の影響もあり弱含みの傾向が続いていることから、売上高及び営業利益は概ね計画通りとなる一方、千葉市美浜区に保有するオフィスビルの投資不動産において、不動産管理費が想定を下回ったことに加え、閉店したコンビニ店舗の営業補償金を特別利益として計上したことから、経常利益、四半期純利益は予想を上回る見込みです。

また連結業績においては、個別業績のほか、マンションフロントサービス事業において、優秀な人材を確保するため、コンシェルジュの待遇改善などの施策を先行して行ったことで、人件費などの運営コストが計画を超過しており、営業利益が計画を下回る結果となったことから修正を行う一方、投資有価証券売却益66百万円などを計上することから、経常利益においては予想を上回る見込みであるほか、親会社株主に帰属する四半期純利益においても修正を行うものです。

なお、第2四半期連結累計期間末時点における、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は通期計画を超過しておりますが、今後の宿泊マーケットの動向が不透明であるほか、今秋の消費税の増税に合わせ実施しております、キャッシュレス決済の還元費用の負担が生じるなど不確定要素が多いことから、通期の連結業績予想におきましては変更ありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上